鋼船規則

CSR-T 編

二重船殻油タンカーのための
共通構造規則

鋼船規則 CSR-T 編

2011 年 第 1 回 一部改正

2011 年 6 月 30 日 規則 第 18 号

2011 年 2 月 3 日 技術委員会 審議

2011 年 2 月 25 日 理事会 承認

2011 年 6 月 24 日 国土交通大臣 認可

2011年6月30日 規則 第18号
鋼船規則の一部を改正する規則

「鋼船規則」の一部を次のように改正する。

CSR-T 編 二重船殻油タンカーのための共通構造規則

6 節 材料及び溶接

2 塗装を含む腐食防止

2.1 船体の防食

2.1.2 内部電気防食システム

2.1.2.1 及び 2.1.2.2 を次のように改める。

2.1.2.1 引火点 ~~61~~60°C以下の液体貨物を積載するタンクに電気防食システムを取り付ける場合には、取付配置図を本会に提出し、承認を得なければならない。その配置にあっては、火災及び爆発に対する安全性を考慮しなければならない。この規定は、隣接するタンクにも適用する。

2.1.2.2 タンク内の固定式アノードは、貨物タンクに隣接しない分離バラストタンクを除き、マグネシウム製又はマグネシウム合金製のものであってはならない。外部電源方式による電気防食は、塩素及び水素の発生により爆発をもたらすことから、貨物タンク内に使用してはならない。アルミニウム製アノードは設置しても差し支えない。ただし、引火点 ~~61~~60°C以下の液体貨物タンク及び隣接するバラストタンクにおいては、アルミニウム製アノードが、緩み外れるに至った際に、275Jを超える運動エネルギーが発生しないように配置しなければならない。

附 則

1. この規則は、2011年6月30日から施行する。